

## 安全対策連絡協議会の開催

平成29年6月16日  
在スリランカ日本国大使館

6月15日、当大使館において安全対策連絡協議会を開催したところ、概要以下のとおりです。

### 1 出席団体等（順不同）

スリランカ日本人会、スリランカ日本商工会、国際協力機構（JICA）、日本貿易振興機構（JETRO）、コロンボ日本人学校、国際交流基金専門家（オブザーバー）、日本語フリーペーパー「スパイスアップ・スリランカ」（オブザーバー）、当地旅行代理店等代表（オブザーバー）

### 2 議事

- (1) スリランカ情勢
- (2) スリランカの治安情勢
- (3) 邦人安全対策（デング熱対策を含む）

### 3 概要

- (1) 安全対策連絡協議会の開催にあたり菅沼大使より冒頭発言
  - (ア) ダッカにおけるテロ事件から約1年。現時点でスリランカにおいて個別具体的な脅威情報があるわけではないが、世界各地でテロ事件が頻発している状況を踏まえれば、安全対策／危機管理意識の向上が不可欠。
  - (イ) スリランカにおける政治・治安情勢等の情報共有により、事件・事故による被害を未然に防ぎ、抑止につなげていくことが重要。
- (2) 引き続き、当館より議事次第に基づき説明（資料別添）。
  - (ア) スリランカ情勢（岩瀬書記官）：ムスリム関連施設に対する襲撃事件など、治安情勢に影響を与え得る最近のスリランカ情勢について解説。
  - (イ) スリランカの治安情勢（浅羽書記官）：一般犯罪、交通事故や薬物犯罪について犯罪件数の推移や安全対策について説明。また、最近のテロ情勢、特にラマダン期間中にテロ事件が頻発する背景などについて解説。
  - (ウ) 邦人安全対策（松永書記官）：過去最大の流行となっているデング熱の傾向と対策について説明。また、情報収集、関係者への周知・情報共有の必要性及び重要性を指摘しつつ、在留届やたびレジの登録徹底を呼びかけるとともに、最近の邦人援護事案の事例を踏まえつつ邦人安全対策について説明。
- (3) 参加者より、スリランカにおける異なる民族・宗教間の意識／感情、邦人被害事案の具体的事例、女性に対するセクハラ被害の未然防止策、軽犯罪被害に際しての警察への

通報の要否，日本人学校の安全対策等について発言・質問が寄せられ，活発な議論が行われた。

(4) 最後に八木参事官より発言

(ア) 次回の安全対策連絡協議会は時期は未定なるも今年度中（来年3月まで）に開催したい。ただし，重大事案発生の場合は緊急開催の可能性もあり得る。

(イ) 今回日本人関連5団体に加え，オブザーバーの方にも参加いただいて新たな体制で実施した。今後，国際機関に勤務されている邦人職員などにも声をかけて，より網羅的で実のある安全対策連絡協議会にしていきたい。

以上

## 1. 連立政権とその安定性

- 2015年1月の大統領選挙でシリセーナ大統領がラージャパクサ前大統領を破って当選。
- 2015年8月の総選挙後，統一国民党(UNP)とスリランカ自由党(SLFP)が連立政権を樹立し国会で3分の2超の議席を確保。
- 他方でSLFPはシリセーナ大統領派とラージャパクサ前大統領派に分裂。主に前大統領派から成る統一野党は5月1日のメーデー集会で約10万人を動員。
- 連立の合意は2年間であり8月に期限切れとなるため延長につき協議が必要。

## 2. 治安情勢と注目点

- (1) ヘイトクライム: 4月以降ムスリム関連施設に対する襲撃事件が発生。政府が対応を誤れば民族対立に発展する可能性も排除できない。
- (2) 選挙の実施: 地方レベルの選挙(州議会選挙, 地方議会選挙)が本年予定。北・東部を除く地方部ではラージャパクサ前大統領の人気が高いと言われており, 選挙実施に際して政党間対立が激しくなる可能性あり。

【参考】州議会選挙: 9月に東部州, サバラガムワ州, 北中部州の州議会任期が満了

地方議会選挙: 現在, 全ての地方議会が解散された状態

国政選挙: 大統領選挙, 総選挙は2019年末から2020年にかけて実施予定。

- (3) 与野党対立と国民の不満: 統一野党は連立政権に対する活発な政権批判を展開。政府が汚職撲滅, 国民和解, 憲法改革, 国民の経済生活改善等の重要政策課題や災害時の危機管理, 中国からの大型投資案件等への対応如何によっては, 政治情勢の不安定化や国民の不満の高まりにより, 治安にも影響が及ぶ可能性も排除できない。

# スリランカの治安情勢

平成29年6月

在スリランカ日本国大使館 警備班

## 1 一般犯罪・交通事故

### (1) 一般犯罪

#### ア 統計

昨年の犯罪認知件数：36,937件（前年比8%減）

罪種の内訳（主要犯罪に限る）：別添資料

#### イ 薬物事件の検挙

154件，258人逮捕，計約4,200kg押収（増加傾向）

逮捕者の内訳：（別添資料）

#### ウ 日本人が被害に遭いやすい犯罪

三輪タクシーによる詐欺

女性を誘った上での性犯罪

### (2) 交通事故

昨年の交通事故件数：39,086件

うち死亡事故：3,003人（過去最高，日本と比べ約10倍の死亡確率）

事故原因の内訳：別添資料

### (3) 水難事故等

サーフィン，スキューバ，ロッククライミング等での事故にも注意。

### (4) 安全対策

「安全を金で買う」～私用車，私用運転手，高層アパート（警備員）等安全対策をしっかりとる。危険箇所にはあらかじめ近づかない。不要不急な運転をしない。

## 2 テロ情勢

### (1) ラマダン

ア 期間：現在，ラマダン期間中。

イ なぜ危険か：ムスリムにとって，自らムスリムであることを自覚せざるを得ない時期。ラマダン中の行徳は死後「天国に行ける」可能性を高めると信じられていることから，欧米諸国への攻撃を行徳と曲解する過激派にとって，ラマダン中のテロは正当化されやすい。

ウ ソフトターゲット：従来の標的であった政府機関，軍，警察等から，警備が手薄な競技場，劇場などソフトターゲットが標的とされる傾向がある。

エ ローンウルフ型テロ：ウェブサイト，SNS等で過激思想に触れ，過激化した個人によるローンウルフ型テロも顕在化してきている。

### (2) 行事の開催

ソフトターゲットが標的になり得る傾向を踏まえた警備計画の策定が必要。

### (3) 海外からのテロ脅威の浸透

具体的な脅威情報に接していない。

### (4) 最近の動向

ムスリム関連施設を狙った一連の事件が政府の対応如何によっては，民族間の対立に発展する可能性も排除できない。

## ○ 昨年の主な犯罪と件数

	罪種	件数
1	殺人（教唆・幫助及び未遂を除く。）	502
2	放火	486
3	住居侵入・窃盗	10,287
4	詐欺（被害額 30 万ルピー以上）	5,472
5	薬物犯罪	2,078

## ○ 昨年の逮捕者内訳（人）

	ヘロイン	カナビス	ハシッシュ
2016 年	224	24	10

## ○ 昨年のスリランカの死亡事故原因（計 3,003 人）

	原因	件数
1	危険運転	1,467
2	速度超過	397
3	車両整備不良	264
4	危険追越し	190
5	居眠り運転	56
6	その他	629

## デング熱について

平成29年6月  
在スリランカ日本国大使館 医務官

### 1 問題点

- (1) 過去最大の流行。
- (2) 発生がコントロールできていない。
- (3) コロンボを含む西部州での発生が最も多い。
- (4) 雨期の到来で益々患者数増加の恐れがある。

### 2 対策

- (1) 有効な予防薬はない。ワクチン「デングヴァクシア (Dengvaxia®)」は世界14カ国で承認済みなるも、スリランカでは未承認(承認には時間がかかる見込み)。近隣ではタイで接種可能(ただし9歳から43歳まで)。
- (2) 外出時肌の露出は避ける。
- (3) 有効な蚊忌避剤(D E E T含有)を用いる。
- (4) 突然の高熱が2日以上続いたら病院を受診しデング熱かどうか確認。
- (5) むやみに解熱剤を使用しない。使用して良い解熱剤はアセトアミノフェンのみ。多剤は禁忌。アセトアミノフェンの商品名はパナドールなど。
- (6) 蚊の発生源を作らない。

統計資料等別添

以上

年次別デング熱発生数(保健省:Epidemiology Unit 発表抜粋)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1月	4,805	933	3,986	3,462	3,610	6,345	6,694	10,468
2月	4,731	1,052	3,145	3,258	2,011	3,731	4,439	8,500
3月	2,528	1,118	2,628	2,996	1,648	1,962	2,696	13,446
4月	2,004	1,771	2,028	2,109	1,682	1,293	2,832	12,378
5月	1,950	1,967	2,550	2,614	4,292	1,625	2,422	14,179
6月	3,437	3,471	5,955	2,427	6,736	1,477	4,731	2,873
7月	6,113	4,817	5,193	2,924	5,721	2,125	10,715	
8月	4,171	2,106	5,266	3,282	4,022	1,604	4,873	
9月	1,863	2,445	2,857	1,912	2,640	1,099	3,629	
10月	1,137	2,127	3,181	1,636	4,297	2,066	2,185	
11月	647	2,203	4,034	2,611	5,452	2,762	2,255	
12月	802	4,463	3,638	2,832	5,391	3,688	7,474	
TOTAL	34,188	28,473	44,461	32,063	47,502	29,777	54,945	61,844

6月12日現在

死者約170名(報道ベース)

発生数が最小の月に1P以後最多月まで1P加算最大12P

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	ポイント計
1月	11	1	8	12	5	12	10	59
2月	10	2	5	10	3	11	7	48
3月	7	3	3	9	1	6	4	33
4月	6	4	1	3	2	2	5	23
5月	5	5	2	6	7	5	3	33
6月	8	10	12	4	12	3	8	57
7月	12	12	10	8	11	8	12	73
8月	9	6	11	11	6	4	9	56
9月	4	9	4	2	4	1	6	30
10月	3	7	6	1	8	7	1	33
11月	1	8	9	5	10	9	2	44
12月	2	11	7	7	9	10	11	57

7月	73
1月	59
6月	57
12月	57
8月	56
2月	48
11月	44
3月	33
5月	33
10月	33
9月	30
4月	23

6月7月、及び12月1月2月に発生数が多い

# HOW DO I CHOOSE AN INSECT REPELLENT?



1- 2 hours



2-4 hours



5 - 8 hours

## ON SKIN

### MOSQUITOES

Protection varies by species of mosquito.

Most mosquitoes that transmit diseases in the US bite from dusk-dawn.

Choose the appropriate repellent for the length of time you'll be outdoors. Reapply according to product instructions

<10% DEET  
<10% picaridin

~15% DEET  
~15% picaridin/KBR 3023  
~30% oil of lemon eucalyptus/PMD

~20%-50% DEET

### TICKS

Other factors affecting efficacy include: individual chemistry, sweat, numbers of bugs. Apply creams and lotions 15 to 20 minutes before going outdoors.

Generally, repellent with 20 – 50% DEET is recommended to protect against tick bites.

In areas where both mosquitoes and ticks are a concern, repellents with 20 – 50% DEET may offer best, well-rounded protection.

The American Academy of Pediatrics has recommended that repellents containing up to 30% DEET can be used on children over 2 months of age.

The repellents shown here meet CDC's standard of having EPA registration and strong performance in peer-reviewed, scientific studies. They reflect products currently available in the U.S.

## ON CLOTHING AND GEAR

### Permethrin



Permethrin treatment of clothing and equipment can provide protection against mosquitoes and ticks through multiple washings. Follow label instructions.



## 安全対策情報（デング熱等感染症に対する注意喚起）

スリランカにお住まいの皆様及び旅行者の皆様へ

2017年6月1日  
在スリランカ日本国大使館

### 1 デング熱

#### （1）罹患者数

スリランカ保健省の発表によれば、スリランカ全土における本年1月から現在までのデング熱罹患者数は55,377人に上り、2017年の5ヶ月間のみで既に昨年1年間の罹患者数を上回るなど、過去最大の流行となっています（このうち約43%がコロomboを含む西部州で発生）。

#### （2）予防対策1（蚊に刺されない）

現在のところスリランカにおいてデング熱ワクチン（Dengvaxia®）は承認されておらず、また有効な予防薬もないため、蚊に刺されないようにすることが最善の予防方法です。長袖シャツ・長ズボンなどを着用し肌の露出を少なくするとともに、昆虫忌避剤（DEET入りの虫除けスプレーやクリーム、商品名：Odomos等）を2～3時間おきに塗布するなど予防措置に努めてください。その他、スリランカでは蚊よけ対策として一般的にシトロネラオイル（商品名：CITRO等）やアーユルヴェーダ系バーム（商品名：Shiddhalepa Ayurvedic Balm等）などが使われています。

#### （3）予防対策2（蚊の発生源を絶つ）

蚊はわずかな水たまりでも繁殖します。現在スリランカは雨期に入っており、また今般の集中豪雨の影響もありますので、蚊の繁殖を防ぐため、タイヤ、バケツ、おもちゃ、ペットの餌皿等を屋外放置しない、植木の水受け等には砂を入れるなどの対策を取ってください。

#### （4）感染が疑われる場合

突然の高熱が2日以上続くなど感染が疑われる場合には、早期に医療機関を受診してください。その際、検査受付で依頼する項目は①Dengue Virus NS1 Antigen, ②Dengue Antibody Test, ③C.B.C(Full Blood Count)です。

なお、デング熱の感染が疑われる場合、解熱剤としてアセトアミノフェン（Acetaminophen）を用いてください（商品名：パナドール、パラセタモール、タイレノール等）。アセトアミノフェン以外は血小板機能を抑制するため使用してはいけません（使用してはいけない薬剤：アスピリン、イブ、バファリン、ロキソニン等）。

デング熱については以下リンクの外務省感染症広域情報も参考にしてください。

●外務省感染症広域情報：アジア・大洋州におけるデング熱の流行（感染が疑われる場合には、早期に医療機関を受診してください。）（その2）

[http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo\\_2017C013.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2017C013.html)

## **2 その他感染症**

### (1) チクングニア熱

スリランカにおいては蚊が媒介するチクングニア熱にも注意してください。潜伏期間や症状などはデング熱と非常に似通っています。予防対策や感染が疑われる場合の対応なども上記1のデング熱と同様です。なお、医療機関での検査項目は Chikungunya Antibody です。

### (2) レプトスピラ症

集中豪雨による洪水被害などの被災地ではレプトスピラ症が蔓延する危険性があります。

レプトスピラ症は、ネズミをはじめ動物の尿に汚染された土壌や水が、体の傷や粘膜に接触することによって感染します。2日～14日間の潜伏期間があり、風邪のような症状のみで治る場合もあれば、黄疸、出血、腎障害など重症化することもあります（ワイル病）。

現在のところ予防ワクチンはありません。特に洪水被害を受けた地域では、川、湖沼や水溜まりなどに不用意に入らないようにするとともに、不衛生な水は飲まないなど衛生管理を徹底してください。

### (3) 水系感染症（赤痢、チフス、コレラ、A型肝炎等）

この他、今般の集中豪雨により赤痢、チフス、コレラ、A型肝炎等などの経口感染症が流行する危険性も排除できません。

特に今般の集中豪雨の被災地などでは、不衛生な水を飲まない、水道水なども一度煮沸してから使用する、食品にハエがたからないよう気をつける等食品衛生管理を徹底してください。

また、コロンボなどの都市部においても、地下水（井戸水）が汚染されている場合がありますので、ミネラルウォーター（Bottled water）を飲用するなどしてください。

在スリランカ日本国大使館

電話：（市外局番011）2693831

国外からは（国番号94）11-2693831

[http://www.lk.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/00\\_000089.html](http://www.lk.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000089.html)

以上

## 邦人安全対策

平成29年6月  
在スリランカ日本国大使館 領事班

### 1 大使館緊急連絡先

何らかの事件・事故に巻き込まれた場合は大使館へ連絡。その他、自然災害など今後事態が悪化し得る情報に接した場合も大使館へ連絡願いたい（情報提供、情報共有）。

メール：[ryoujivisa@co.mofa.go.jp](mailto:ryoujivisa@co.mofa.go.jp)

電話：011-269-3831（24時間対応）←通常はこちら  
0777-383-369（真に緊急の場合）

### 2 「在留届」及び「たびレジ」の登録

3ヶ月以上滞在する場合は在留届、3ヶ月未満は「たびレジ」に登録願いたい。  
特に、当地で在留届出済みの方が出張や休暇で第三国に渡航する際には「たびレジ」登録を。

「たびレジ」外務省海外旅行登録 (<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>)

メリット：①渡航先の安全情報がメールで届く

②緊急事態発生時には大使館から安否確認、情報提供等

### 3 最近の邦人援護状況（邦人旅行者等に対する邦人援護事案等）

○詐欺・窃盗被害（日本語での声がけによる窃盗・置き引き，トゥクトゥク運転手による窃盗，フォート駅でのスリ被害，バス乗車中のスリ被害，日本語堪能な現地ガイドによる詐欺事案，スリランカ人パートナーとのビジネストラブルなど）

○セクハラ被害，レイプ被害

○暴行被害

○観光地での写真撮影（スナップ写真），無許可でドローン撮影による身柄拘束

○空港到着時の入国審査トラブル（ETA，滞在カテゴリー）

○交通事故

○デング熱感染

その他，自然災害などで邦人安否確認が必要な事案

○スマトラ沖地震（津波）

○ゴミ山崩落

○豪雨災害（2016年，2017年）

### 4 その他連絡事項

○ラマダン月の注意喚起（更新） <http://www.lk.emb-japan.go.jp/files/000264481.pdf>

○デング熱 <http://www.lk.emb-japan.go.jp/files/000261614.pdf>

○ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル

[http://www.anzen.mofa.go.jp/anzen\\_info/golgo13xgaimusho.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html)

## 一般犯罪・誘拐に対する予防対策

- 1 **なるべく目立たず、周囲の環境に溶け込む。**
  - ・人目を引くような華美な装飾品を身につけない。
  - ・暴力的な言動をとらず、トラブルを起こさない。
- 2 **ルーティンの行動は避ける。**
  - ・毎朝のジョギングなど同じ日課を繰り返さない（パターン化しない）。
  - ・通勤や通学にあたっては、移動の時間帯やルートを変える。
- 3 **個人情報の管理を徹底する。**
  - ・名前や所属、住所や電話番号、行動予定など周辺情報を不用意に流布せず、また流布されないよう注意する。
- 4 **外出する場合には常に周囲の状況に気を配る。**
  - ・なるべく単独での行動を避ける。特に夜間の一人歩きは避ける。
  - ・周囲に不審者、不審車両がないか常に確認する。
  - ・尾行や監視をされていないか注意を払う（下を向いて歩かず、前後左右の人の動きに注意を払う）。
  - ・人通りの少ない道は避ける。
  - ・見知らぬ人から話しかけられても、むやみに信用しない。
- 5 **所持品から目を離さない。**
  - ・特に繁華街等の人混みでは、鞆などの持ち物は身体の前でかかえて持つ。
  - ・多額の現金は持ち歩かない。また所持金は分散して持つ。むやみに人前で財布を取り出さず、また高額な現金を他人に見せない。
- 6 **自家用車で移動する際はドアを必ず施錠する。飲酒運転、無用なトラブルを招くような乱暴な運転をしない。**
- 7 **タクシーの利用にあたっては、以下の諸点に留意する。**
  - ・流しのタクシーは利用しない（なるべくホテルやレストランなど信頼の置ける場所で迎車を依頼する）。
  - ・タクシーメーターが据え付けられていない、いわゆる白タクは利用しない。
  - ・乗車する前に目的地までの所要時間と料金を聞くとともに、必ずメーター制で運転させる（何らかの要求や難癖をつけてくる場合には利用しない）。
  - ・なるべく助手席に乗る（後席に座った場合、チャイルドロックをかけられていると、いざという時に脱出できない）。
  - ・運転手以外の人物が既に乗車しているタクシーには乗らず、また、途中で他人を乗車させない。他人が乗り込んでくるようであればすぐに降車する。

（了）

## 領事・査証トップページ

平成29年6月2日掲載

領事・査証窓口のご案内	
※大使館にお越しの際は、必ず身分証明書(パスポートなど)をお持ちください。	
住 所	No.20, Srimath R.G. Senanayake Mawatha, Colombo7, Sri Lanka
電 話	+94-11-2693831～3
F A X	+94-11-2698629または2674555
メールアドレス	ryoujivisa@co.mofa.go.jp
領事窓口時間	月曜日～金曜日(祝祭日を除く)9:00am～10:30am, 1:30pm～3:00pm
査証窓口時間	申請受付：月曜日～金曜日(祝祭日を除く)9:00am～10:30am※ 交付・返却：月曜日～金曜日(祝祭日を除く)1:30pm～3:00pm ※当大使館査証窓口での一般査証の受付は2017年2月8日をもって終了しました。一般査証の申請・交付にあたっては、「日本ビザ申請センター」をご利用ください(詳細はこちら)。
大使館休館日	
領事手数料	平成28年度(2017年3月31日までに当館にて申請を受理した場合) 平成29年度(2017年4月1日以降に当館にて申請を受理した場合)
ご意見箱	
<b>各種申請・手続き</b>	<b>安全対策</b>
在留届 在外選挙 旅券(パスポート) 証明(在留証明, 運転免許翻訳証明など) 戸籍(婚姻届, 出生届など) 国籍(選択届, 離脱届) 査証(ビザ)	New 新着情報/お知らせ 海外安全対策情報 安全の手引き(スリランカ) 外務省海外安全ホームページ(スリランカ) 外務省海外安全ホームページ(海外安全パンフレット)・資料 国外での犯罪行為により被害に遭われた方・ご遺族の方へ たびレジ登録について スリランカ気象庁 スリランカ災害管理センター
<b>海外子女教育</b>	<b>医療情報</b>
新着情報/お知らせ 日本の教科書の無償・有償配付 諸外国・地域の学校情報(外務省HP) コロンボ日本人学校HP 公益財団法人 海外子女教育振興財団HP	New 新着情報/お知らせ 医療情報 在外公館医務官情報 感染症情報(厚生労働省HP) 厚生労働省検査所HP コロンボ医療情報(ヘルスサポートネット・日本人会・医務官共同執筆) 同上付録 医療用語集(英語) 同上別冊(スリランカでの妊娠・出産編) 医療支援用指さし会話集(シンハラ語) 親子健康手帳の配布
<b>各種情報</b>	<b>各種リンク</b>
スリランカ緊急連絡先一覧 通訳者/翻訳者/弁護士リスト スリランカ入国手続きについて(ETA) ETAに関する問い合わせ先について New スリランカでの車の運転について 国外転出時課税制度の創設について マイナンバー制度の導入について New JRグループ「ジャパン・レール・パス」(周遊券)の利用について コロンボ案内	日本へのペットの輸出入(動物検疫所HP) 運転免許証に関する諸手続(外務省HP) 米国へ渡航される方へ(ESTA申請)(外務省HP) 海外居住者に対する年金について(日本年金機構HP) New 年金受給に必要な資格期間の短縮について(日本年金機構HP) 海外在住者と日本の医療保険, 年金 日本への入国手続き(日本旅行業協会HP) スリランカ政府観光局 スリランカ日本人会 JICAスリランカ事務所 JETROコロンボ事務所

緊急連絡先一覧

平成29年1月現在  
在スリランカ日本国大使館  
電話:011-269-3831~3

連絡先	緊急電話番号/連絡先	電話番号	備考
警察	119	011-243-3333	コロンボ市内緊急通報
消防	110	011-242-2222	
救急	1990	011-269-1111	ナショナル・ホスピタル(24時間)
スリランカ観光局	1912	011-242-6900	
出入国管理局		011-532-9000	
病院	National Hospital	011-269-1111	
	Central Hospital	011-466-5500	
	Nawaloka Hospital	011-230-4444	
空港/航空会社	空港フライトインフォメーション	011-225-2861	
	スリランカ航空	019-733-5555	ハンダラナイケ国際空港支店
	シンガポール航空	011-225-2264	同上
	タイ航空	011-230-7100~8	同上
	マレーシア航空	011-234-2291	同上
	エミレーツ航空	011-470-4070	同上
	キャセイパシフィック航空	011-225-2157	同上
保険アシスタンス会社	WellBe	011-286-4090	日本語可
海外送金サービス	Western Union	0061-2-9226-9554	*(カスタマーサービスセンター)
コレクトコール	KDDIジャパンダイレクト	011-243-1431	スリランカ・アクセス番号
クレジットカード会社	JCB	0081-422-40-8122	*
	アメリカン・エクスプレス	0081-3-3220-6100	*
	ダイナースクラブ	0081-45-523-1196	*
	VISAカード	001-303-967-1090	*(コレクトコール経由)
	マスターカード	001-636-722-7111	*(コレクトコール経由)
	UCカード	0081-3-6688-7669	*
	三井住友VISA	0081-3-5392-7314	*
	セゾンカード	0081-3-5992-8300	*
	クラブオン/ミレニウムカード	0081-3-5996-9125	*
日本人関係団体	スリランカ日本人会	011-243-5784	
	コロンボ日本人学校	011-266-9620	
	JICAスリランカ事務所	011-230-0470	
	JETROコロンボ事務所	011-232-3354	
	JICAモルディブ支所	00960-332-2049	*

(注1) 備考欄の\*は国際電話

(注2) スリランカの国番号は94 (国外からかける場合は市外局番の最初の0を取る)